

おらDoの協Do!

～人と人が集まり、出会いとつながりが
広がる中で生まれる「おもっせえ」おうち～

協働による地域・まちづくりを実践し、
人と人との出会いやつながりを生み出
している「おもっせえ」人や活動を紹
介します。みんなやっぺし協働!

地域防災の意識を小学生から発信 吉里吉里学園と消防団が標語で啓発

消防車両の後ろに掲げられた「火の確認 大切な人 守るため」の文字。3月14日(火)、令和4年度消防標語の表彰が行われ、最優秀賞に選ばれた芳賀みくさん(吉里吉里学園6年)の作品が、車両にプリントされお披露目となりました。

吉里吉里地区では、消防団が小学生から消防に関する標語を募集し、表彰する取り組みが行われています。受賞作品は、吉里吉里地区の消防団員38人の投票によって選ばれたもので、1年間、防火の啓発活動に使われます。消防団第3分団の芳賀分団長が「消防団を身近に感じてもらい、さらには地域の防火・



防災への意識づけをする意味においても良い企画だと思っております。冬休みの宿題としてもらうなど、学校にもご協力いただいています」と語るように、消防団、学校、児童が地域のために同じ気持ちで取り組む啓発活動は、地域防災力向上の大きな力となっています。子どもたちの目線からの素直で力強い呼びかけが、消防団員と一緒に吉里吉里の町を駆け回ります。

【最優秀賞】 芳賀みくさん(6年)

火の確認 大切な人 守るため

地域防災の要である消防団が、子どもたちを「次世代の地域を守る人材」に育成することにつながる素晴らしい取り組みです。小学生が防火・防災について考えるきっかけとして、ぜひ続けていってほしいと思います。



大槌消防署
藤原 秀二 署長

【優秀賞】 東梅 紗千さん(1年)
カンカンの音聞こえたら わが家も見回り 火の用心

【優秀賞】 倉本 和さん(2年)
つけた火を ひとりぼっちに しちゃだめよ

【優秀賞】 関谷 凌汰さん(3年)
火のしまつ 人にたのむな まかせるな

【優秀賞】 平野 沙奈さん(4年)
支え合い みんなでつなぐ 地域の防火

【優秀賞】 小川 和花さん(5年)
火の確認 家族みんなで 声出して

【優秀賞】 関谷 絃吹さん(6年)
うっかりを なくしてしっかり 火の用心

【ユーマア賞】 倉本 隼太さん(5年)
火はこわい おかあさんと 同じくらい